

施策2 市場ニーズの変化に対応する県産食品の販売力強化

①消費者視点によるバリューチェーンの構築

②みやぎの食材・食品のブランド化推進による国内外への販路開拓

消費者視点によるバリューチェーンを構築します。

■農業生産者、食品製造・加工業者、流通・販売業者の連携による、食の外部化など生活様式の変化に対応した取組を進めます。



みやぎの食材・食品のブランド化を進め、国内外へ販路を拡大します。

■「食材王国みやぎ」の地域イメージを定着させ、みやぎの食材や食品の価値を高めます。



県産食材のPRと販売活動

県産食材の海外輸出

■新しい生活様式に対応し、WEB上で県産品の魅力を発信するとともに、EC販売などの販路を拡大します。



施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

- ① 生産から製造の各段階における適正管理の強化
- ② 科学的知見に基づく県産農畜産物の安全性評価
- ③ 様々なリスクを見据えた食料供給体制の構築

生産から製造の各段階で適正管理を強化します。

■GAPへの取組を拡大します。



農業者向けGAP推進研修

■HACCPに沿った衛生管理を進めます。



県産農畜産物の安全性を確保します。



基準値内



放射性物質検査

様々なリスクを見据えた食料供給体制を構築します。



耐候性ハウス



家畜防疫演習

- 保険への加入や耐候性ハウスの導入、非常用電源の確保などのリスク管理を進めます。
- 事業継続計画（BCP）を策定する大規模農業法人、農産物直売所、食品関連事業者等を増やします。
- 特定家畜伝染病の防疫体制を強化します。

基本項目Ⅱ

次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

みやぎの農業を、地域経済を支える「儲ける農業」として持続的に発展させるためには、環境負荷低減を図りながら、人材不足の解消や円滑な経営継承、また、先進技術の導入等による生産性の向上や需要に応じた作物生産が重要です。

そこで、農業に携わる意欲ある多様な人材の確保と育成、スマート農業の推進・普及や農地の大区画整備による収益性の高い農業経営の展開を図るとともに、高度な環境制御技術を導入した先進的施設園芸及び大規模露地園芸の振興による園芸生産の拡大とバリューチェーンの構築などの取組を進めます。



施策4 環境との調和に配慮した持続可能な農業の推進

- ① 環境との調和に配慮した生産の取組支援と消費者の理解促進
- ② 資源循環型農業の推進と地域資源の活用促進

環境との調和に配慮した生産の取組を支援し、消費者の理解促進を図ります。



特別栽培農産物の現地確認

特別栽培農産物



特別栽培農産物



特別栽培農産物



特別栽培農産物



みやぎの環境にやさしい
農産物認証・表示制度



環境にやさしい農産物PR販売会



施策5 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成

- ① 意欲ある農業経営者の確保・育成と円滑な経営継承
- ② 企業等の農業参入推進
- ③ 多様な働き手が活躍する取組支援



施策6 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ① 生産性向上のためのスマート農業の推進
- ② 時代のニーズに対応した農業技術の開発と現地普及

効率的な農業経営を展開するため、RTKシステム等のスマート農業技術を普及します。

RTK基地局を活用した省力的かつ高精度な機械作業



ドローン自動飛行による
防除・追肥作業

県RTK基地局の整備



ロボットトラクターの無人作業



RTK自動操舵による
タマネギの直播作業



施設園芸における高度環境制御システムの普及



営農管理システム



牧場を見回ることなく「確実な発情期」
を発見する牛全体データのセンシング

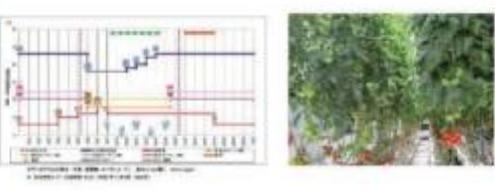
消費者のニーズや、環境配慮、気候変動に対応した技術など、
農業経営のリスクを軽減する技術の開発を行います。



水稻の高温耐性品種の開発



いちご新品種開発

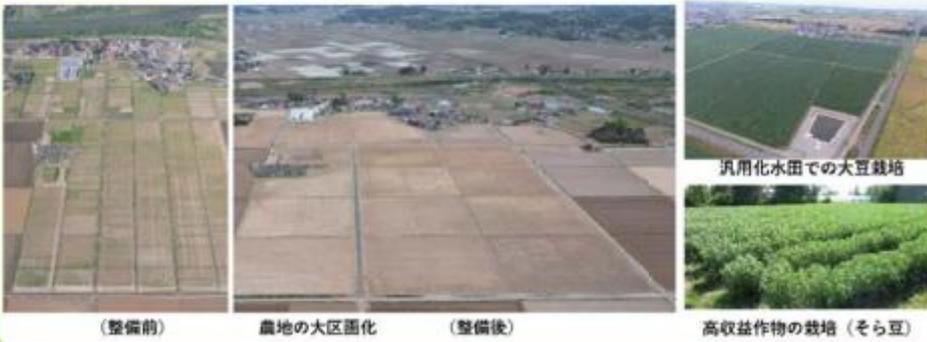


施設内環境制御データを把握するシートの開発

施策7 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- ① 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
- ② 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
- ③ 担い手への農地集積・集約化の推進
- ④ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進（農業用水の安定供給）

農地の大区画化・汎用化を進めます。



農地利用の高度化を進めます。

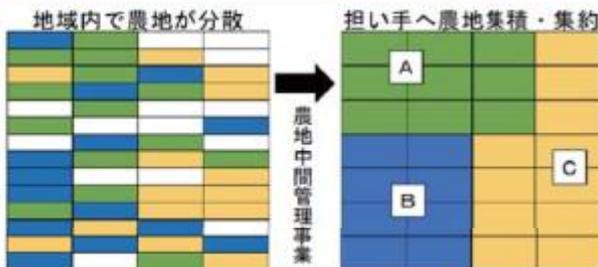
中山間地域での区画整理を進めます。



- 遊休農地の発生防止・解消
- 生産コストの低減



農地中間管理事業を活用した担い手への農地の集積・集約を進めます。



- 営農体系の転換
- 担い手の経営発展

農業水利施設のストックマネジメントの推進により、農業用水の安定供給を図ります。



- 農業用水の安定供給

施策8 需要に応じた米生産と水田農業の収益力強化

- ① 需要に応じた米生産
- ② 実需に対応した大豆・麦類づくりの推進
- ③ 主要農作物種子の安定生産・供給
- ④ 収益性の高い園芸作物の推進

水田を有効活用し、需要に応じた作物生産を実践します。






稲 大豆 麦類等 露地園芸作物



連携





米調理品製造ライン 露地園芸作物の出荷 輸対応型コンテナ

実需者と生産者等が連携した取組を拡大します。






米加工品・調理品 大豆加工品 米を配合した飼料

施策9 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立

- ① 先進技術を駆使した施設園芸の推進
- ② 大区画ほ場等を活用した露地園芸の推進
- ③ 安定供給体制強化のための産地拡充と地域の特色を生かした品目の振興
- ④ 食品関連企業との連携強化

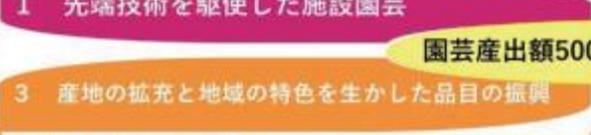


1 先端技術を駆使した施設園芸

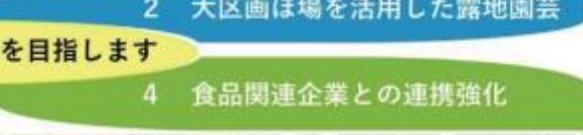


2 大区画ほ場を活用した露地園芸

園芸産出額500億円を目指します



3 産地の拡充と地域の特色を生かした品目の振興



4 食品関連企業との連携強化



↑クロマツの出荷作業



↑人気の高い
シャインマスカット
—東北一のガーベラ



規格外品を活用した
焼き干しいもの加工



えだまめの選別

施策10 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

- ① 地域の中心となる先進的畜産経営の拡大
- ② 自給飼料生産基盤の強化
- ③ 優良種畜の確保と生産基盤の拡大

- 機械・施設の整備により、地域の収益力を強化します。
- 搾乳ロボットなどの導入により、労働負担を軽減します。
- 畜舎環境制御装置などの導入により、気候変動に対応します。



搾乳ロボット



畜舎環境制御装置

- 自給飼料の利用拡大により、畜産経営の生産コストを下げます。



飼料混合機



飼料用イネ展示ほ

- ニーズに応じた畜産物の品質向上により、消費を拡大します。



仙台牛



宮城野豚

畜産物のブランド
推進と消費拡大

畜産産出額の
増加

②自給飼料生産
基盤の強化

③優良種畜の確保と
生産基盤の拡大

①地域の中心となる先進的
畜産経営の拡大

- DNA情報を基に、肉質などの能力を評価し、特色のある種雄牛を選抜します。
- 牛群検定を活用した持続性の高い生乳の生産を行います。
- 種豚の改良により、養豚生産の基盤を強化します。



種雄牛



高能力乳用牛



種雄豚

基本項目Ⅲ

ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築 (豊かな農村)

人口減少や高齢化が進行する中で、農村を維持し活性化するためには、関係人口や移住希望者に選ばれる持続可能な「活力ある農村」を実現する必要があります。

そのため、地域を支える人材や関係人口（ひと）の育成・拡大を図る取組と併せて、これらの人材が持続的に地域と関わりが持てるように地域資源（もの）を生かした「なりわい」を創出（ちえ）し、雇用機会や所得の確保を図ります。また、野生鳥獣被害対策や農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るとともに、農村地域において安全で安心した生活ができるよう環境整備を図ります。さらに、基幹的農業水利施設の計画的な整備や機能保全対策等の推進により、農村地域における防災・減災対策に取り組みます。



施策11 関係人口と共に創る活力ある農村

- ① 農村を支える人材育成と体制整備
- ② 交流拡大による関係人口の創出
- ③ 農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進



※CSV：共有価値の創造。企業が社会的課題の課題解決と企業の利益の創出を両立させること。

施策12 地域資源を活用した多様ななりわいの創出

- ① 地域資源の掘り起こしと磨き上げによる高付加価値化
- ② 地域運営組織等による地域資源を活用したなりわいの創出
- ③ 「地消地産」による地域経済循環の構築



施策13 野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

- ① 野生鳥獣による農作物等被害対策の強化
- ② ジビエ利活用の拡大
- ③ 野生生物の適正な管理

野生鳥獣による農作物等被害対策を強化します。



侵入防止柵の設置



野生鳥獣被害対策
(箱わな)



野生生物の適切な管理

野生鳥獣による農作物被害対策

ジビエの利活用を拡大します。



ジビエの郷おおさき



イノシシ加工状況



道の駅での販売



ジビエ料理

施策14 地域資源の保全管理による営農・農村環境の維持

- ① 農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮
- ② 中山間地域等における農地の維持・保全
- ③ 農業水利施設の持続的な保全管理体制の構築と土地改良区の運営基盤強化

多面的機能の維持・発揮



地域資源の共同保全活動



学校教育との連携

中山間地域等における農地の維持・保全



棚田農作業体験



維持活動により
保全されている棚田

農業水利施設の機能の持続的な発揮



関係者が連携して保全管理するための「水土里ビジョン」

営農・農村環境の維持

施策15 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ① 農村地域の防災・減災対策の推進
- ② 田んぼダム等農村地域の洪水調節機能の効果的な発揮
- ③ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進
- ④ 農村地域の生活環境の維持

防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策



決壊による下流域被害



対策工事の実施

農業水利施設等の長寿命化対策



施設の計画的な整備・更新

田んぼダムによる洪水緩和対策の取組

通常 穴が大きいと流れる量も多い

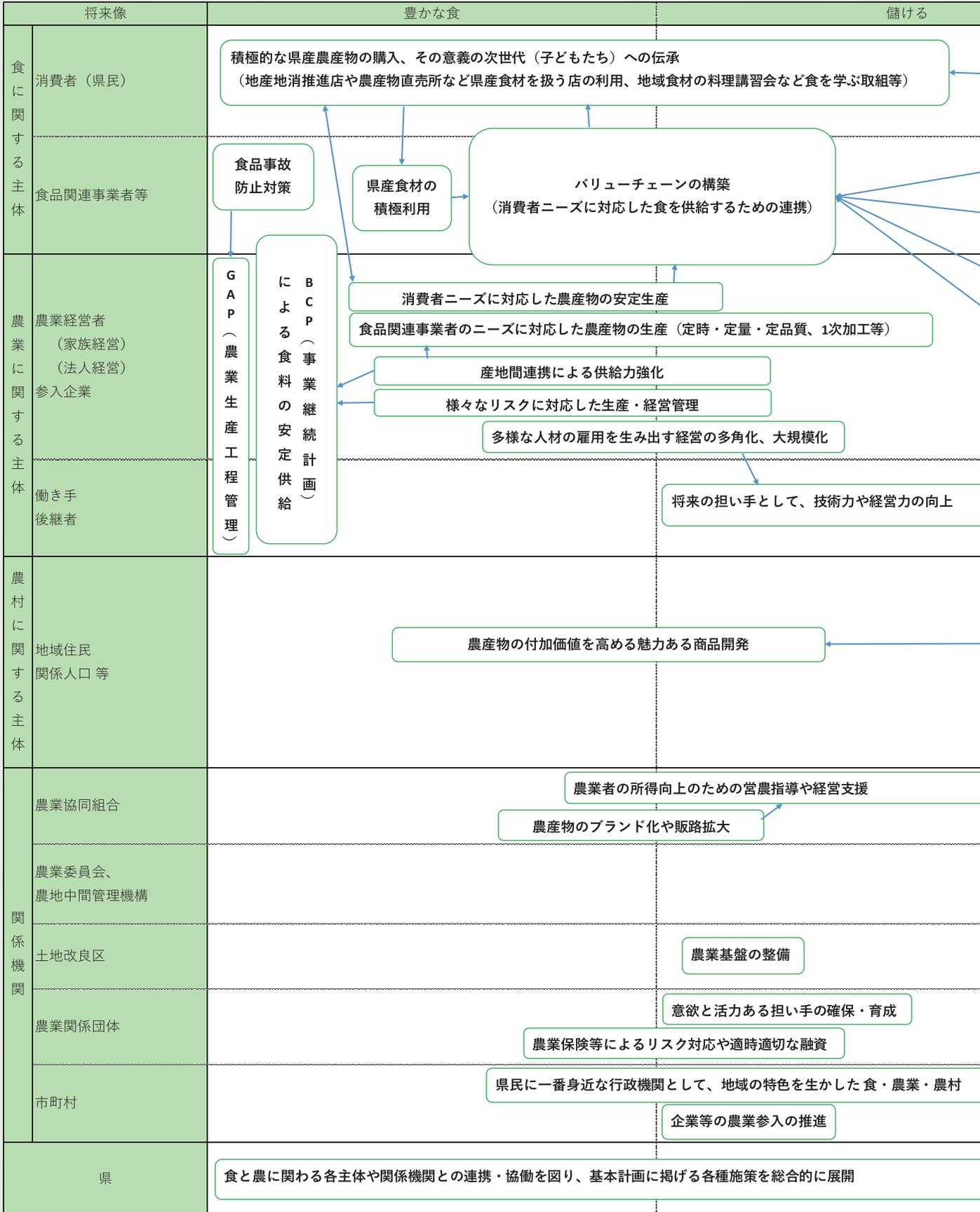
田んぼダム 穴が小さいと流れる量も少ない

ピーク時の流量が減少する

通常の洪水 田んぼダム実施

落水口に小さな穴の空いた調整板を設置し、雨水をゆっくり排水することで洪水の緩和を図る取組です。

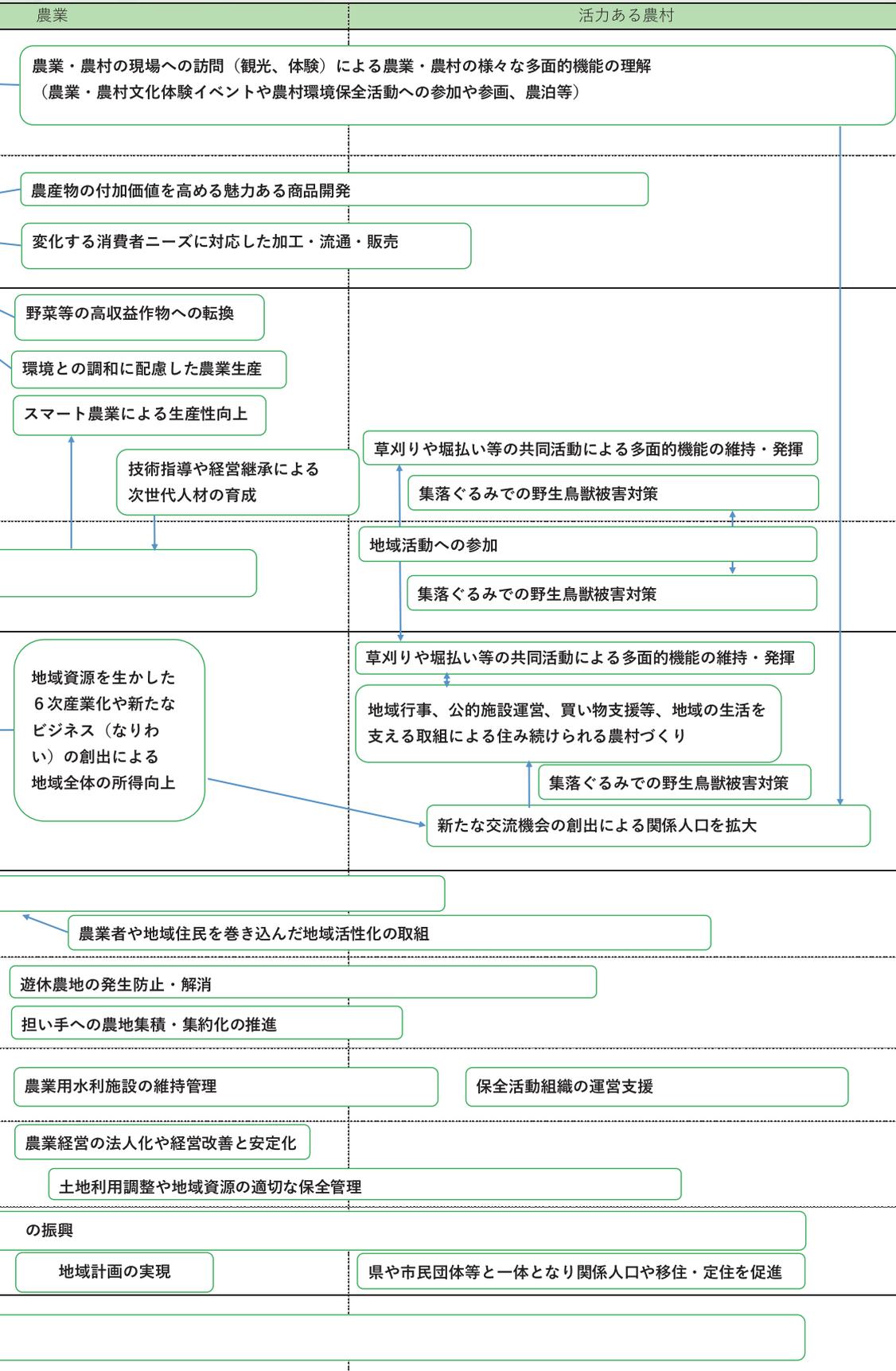
第4章 第1節 各主体の役割



第4章 第2節 関連計画との連携

第3期基本計画では、食・農業・農村に関係する他の計画や方策等による具体化又は相互連携を図り、基本計画に掲げる目標の実現を目指します。

関連計画の一覧は、下記の県ホームページに掲載している計画本文から確認できます。
 県ホームページ：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noseise/index01.html>



発行

宮城県農政部農業政策室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL 022-211-2963 FAX 022-211-2889

Eメール noseise@pref.miyagi.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noseise/>



この用紙は再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキ「VEGETABLE OIL INK」で印刷しています。
このパンフレットは2,000部作成し、一部当りの印刷単価は89.10円です。

